



東京立川ロータリークラブ

2018.7.20 第2801回 例会

Weekly Report



左から東村山RC 野澤秀夫様、田中重義会長、戸澤忠様、立川社会福祉協議会 鈴木茂会長、宮崎晴至事務局長

【司会進行】

SAA委員会 小松 剛委員

【開会点鐘】 清水淳一会長

【ロータリーソング斉唱】

『それこそロータリー』

【お客様の紹介】 清水淳一会長

【会長挨拶】 清水淳一会長

【お客様のご挨拶】

【寄付金贈呈式】 清水淳一会長

【幹事報告】 平井洋孝幹事

【委員会報告】

親睦ゴルフ会 磯部弘志会計

親睦委員会 三浦 哲委員長

【ニコニコ発表】

親睦委員会 齋藤 優委員

【出席率の発表】

出席委員会 米田典弘委員

7月20日(金)	会 員 数	113名
	出 席 義 務 会 員	105名
	出 席 免 除 会 員	8名
	当 日 出 席 者	90名
	出席免除会員の当日出席者	3名
	出 席 率	83.33%
	7月6日の出席率	86.11% → 98.14%

【5大奉仕委員会 委員会所信発表】

国際奉仕委員会 大竹茂明委員長

青少年奉仕委員会 中島孝昌委員長

クラブ奉仕委員会 横手好一委員長

【閉会点鐘】 清水淳一会長

【会長挨拶】 清水淳一会長

サッカーワールドカップもフランスの優勝で終わり、国内では高校野球地区大会が盛んに行われております。また、日本の国技でもある大相撲名古屋場所が終盤を迎えております。今場所は横綱全力士、大関栃ノ心が休場となり盛り上がり欠けているように見えます。そんな中、本日は相撲の話をして頂きます。突然ですが私、小学生の頃相撲が強かったのです。よく立川市少年相撲大会で優勝し、千代田区にある靖国神社で行われていた大会にも立川代表で出場したこともあります。中学3年の夏、1年後輩から全国中学生相撲大会の東京予選に出ないと言われてきました。もちろん私達の中学校には相撲部などありません。東京予選には私達を含めて4チームしか出ないと言うので、急遽相撲部を作って参加することに決めました。先鋒・中堅・大将の3名の団体戦で東京大会に臨み見事優勝、全国大会の切符を手にしたのです。全国大会は当時蔵前国技館で行われ、決勝トーナメントがNHK教育テレビで生放送されるとのことでした。が予選リーグ3戦全敗で決勝トーナメント出場はならず、テレビにも当然映りませんでした。今となっては良い思い出です。私の相撲遍歴を紹介させて頂きました。相撲は体の大きさ、体重別に分かれておりません。体の小さい者も勝つことができるのが相撲です。会長所信の最後のくだりに、低い姿勢で立ち合い、相手の前まわし前みつを両手で掴み、頭をつけすり足で寄り切る。武道もそうですが相撲も礼に始まり、礼に終わります。相手を敬い、そして感謝する。これが子どもの時からの相撲の基本と教えられてきました。会長という大役、東京立川ロータリークラブという偉大な組織の運営に望む姿勢を表しました。今年度1回目の例会では時間がなかったので追加発表致します。さて、本日は横手クラブ奉仕委員長、大竹国際奉仕委員長、中島青少年奉仕委員長、基本方針・活動計画の発表を宜しくお願いいたします。



清水淳一会長

【お客様の紹介】 清水淳一会長

田中重義様<東京東村山RC 会長> 戸澤 忠様<東京東村山RC>

野澤秀夫様<東京東村山RC>

鈴木 茂様<立川市社会福祉協議会 会長>

宮崎晴至様<立川市社会福祉協議会 事務局長>

2018~2019年度 RIテーマ



2018~2019年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

インスピレーションになる

2018~2019年度 クラブテーマ

「一期一会
ロータリー」

東京立川ロータリークラブ
会長 清水淳一



司会進行
小松 剛委員



ニコニコ発表
齋藤 優委員



出席率発表
米田典弘委員

例会時には必ずバッジをつけましょう

【お客様のご挨拶】

東京東村山RC 会長 田中重義様
戸澤 忠様、野澤秀夫様

私は13年前に、このロータリークラブに熱心に誘われました。しかし当初入会する気はなく、1回例会に参加した際はお断りするつもりでの参加でした。その時は、米山奨学生として来ていた中国の方の卓話でした。今



では中国で活躍されているという事ですが、その際に「今日の自分があるのは、東京東村山RCの皆様のおかげであり、中国と日本の架け橋になりたい」と話されていました。この言葉に鳥肌が立ちとても感動し、自分から入会したいと申し出ました。それまでロータリーはお金持ち方の集まりで、毎週の例会という事で暇人の集まりではないかと考えておりましたが、この例会でロータリーの皆様は心豊かな人達の集まりであると理解しました。それから13年、与えられた役職を全うする様務めてきて、この度会長の職を受けさせて頂く事になりました。我がクラブは親クラブである立川RCの皆様を尊敬申し上げております。これからも東村山RCを宜しく願い申し上げます。また当クラブのメイン事業として9月10日、西武園ゴルフ場にて、200名を集めてチャリティーゴルフを開催する予定です。このチャリティーで集まりました浄財は、東村山の子どもの為の人材育成の為に充てたいと考えております。宜しく願い申し上げます。

【寄付金贈呈式】 清水淳一会長
北多摩西地区保護司会 立川分区
榎戸岩雄分区長様

社会を明るくする運動に対して、過大な寄付金を頂きまして有難うございます。この運動は今年で第68回を迎えました。犯罪や非行のない明るい社会を築こうという事で運動しておりますが、過日7月1日アルバルク東京の皆様のご協力を頂きまして、協調月間という事で啓発活動に参加頂きました。J-COMのニュースでも取り上げられましたが、犯罪予防の活動は今後も続けて参りますが、皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。



立川市社会福祉協議会 会長 鈴木 茂様
事務局長 宮崎晴至様

事務局長共々お招き頂き、また過分なご芳志を頂戴し誠に有難うございます。社協としては、立川RCの皆様には大変お世話になっており、理事として鈴木祥祐会員、評議員として村野安成会員、そして一昨日開催されました立川あいあいプラン21策定委員会には、立川商工会議所副会頭の立場ですが、中島孝昌会員、その他事業に対しましても多大なるご協力を頂いており、更に先週も社協の比留間が参加させて頂き、新たな事業にもご協力頂ける事の事でありまして、改めて御礼申し上げます。本日頂きました寄付金につきましては、地域の福祉の為に有効に活用させて頂きます。今後とも社会福祉協議会への引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。御礼とさせていただきます。



【幹事報告】 平井洋孝幹事

●2018-19年度 第1回クラブ会長・幹事会が7月17日ハイアットリージェンシー東京にて開催。会長・幹事で参加。●立川市姉妹市委員会 歓送会が昨日セレス立川で開催。会長・幹事、村野パスト会長、鈴木祥祐パスト会長、渋谷さん、田中清次郎さん、益子さん、国際奉仕大竹委員長で参加。●7月24日 親睦委員会の炉辺会が18:00よりパレスホテル瑞麟にて開催予定。●7月25日 東京府中RC例会に会長・幹事で表敬訪問予定。●次週例会は納涼家族例会。例年同様自クラブメイキャップは不可。



【委員会報告】 親睦ゴルフ会 磯部弘志会計

6月に一度案内済みですが、再度案内申し上げます。第96回市村杯親睦ゴルフ会を、9月6日(木)富士桜カントリークラブにて開催致します。表彰式・懇親会は立川に戻り、伊勢丹バンケットにて開催予定です。締め切りは8月3日となっておりますので、返信がまだの方はお待ちしております。



親睦委員会 三浦 哲委員長

来週になりました納涼例会の案内です。現在80名近い方々のご登録を頂いております。当日はパレスホテル立川に12:15集合、12:30にバスが発発となりますので、ご昼食は済ませてご集合ください。最初にキリンの蒸留所の見学、続いて山中湖にて水陸両用車に乗車し、その後エクシブ山中湖に移動しての例会・懇親会になりますが、ロータリアンとして相応しい服装にてご参加頂きますようお願い致します。ジャケットの着用がなくても結構です。



【ニコニコ発表】 親睦委員会 齋藤 優委員

- 東京東村山RC 会長 田中重義様、戸澤忠様、野澤秀夫様 親クラブとして尊敬する東京立川ロータリークラブに、表敬訪問に伺いました。本年もご指導宜しくお願いします。
- 立川市社会福祉協議会 会長 鈴木茂様 本日はお招きいただき、ありがとうございます。清水会長・平井幹事の一年のご活躍を心より祈念申し上げます。
- 清水淳一会長 東京東村山RC田中重義会長、野澤秀夫様、戸澤 忠様、立川市社会福祉協議会 鈴木 茂会長、宮崎晴至事務局長のご来訪、歓迎致します。鈴木会長この度はフードバンク立川でお世話になります。楽しんで行って下さい。前回の例会では、伊藤パスト会長、石尾パスト会長スピーチ有難うございました。横手クラブ奉仕委員長、大竹国際奉仕委員長、中島青少年奉仕委員長、委員会基本方針・活動計画の発表宜しくお願い致します。
- 平井洋孝幹事 ゲストの皆様、ご来訪誠に有難うございます。国際奉仕 大竹委員長、青少年奉仕 中島委員長、クラブ奉仕 横手委員長 本日は宜しくお願い致します。
- 伊藤平八朗さん (株) 葵環境開発 社長 木村真人氏 先日はめずらしい物ごちそう様です。
- 伊藤平八朗さん 誕生日お祝い有難うございました。失念しておりました。
- 保護司会一同 社会を明るくする運動に対する寄付を頂き、ありがとうございます。7月28日にたましんRISURUホールにて「君の笑顔に会いたくて」を保護司会で上映します。入場無料ですので、是非お越し下さい。
- 榎戸岩雄さん 東京東村山RC 田中重義会長ご就任おめでとう。いつものゴルフスイングの様に、力を抜いて頑張ってください。
- 山口貞夫さん 小野優さん、東京五日市カントリークラブ月例優勝おめでとうございます。
- 大竹茂明さん 渡邊達也会報委員長、姉妹市委員会の旅行の写真、載せて頂き、ありがとうございます。
- 田中宏明さん 国際奉仕大竹委員長、青少年奉仕中島委員長、クラブ奉仕委員会横手委の所信発表を楽しみにしています。
- 市原聖功さん 我、大竹委員長の所信表明命がけて頑張ってください。立川市社会福祉協議会の宮崎様、鈴木様ようこそお出でになりました。
- 浅見英明さん 東村山RC野澤さん、田中さんようこそ。来訪を歓迎します。
- 中山賢一さん 立川市社会福祉協議会鈴木会長、宮崎事務局長の来訪を祝して。今後共宜しく願い申し上げます。
- 磯部弘志さん 東村山RC田中会長・中条幹事ようこそ東京立川RCへ！来週貴クラブにメイクに参りますので、宜しくお願い致します。
- 松浦孝治さん 立川市社会福祉協議会 会長 鈴木茂様のご来訪、心より歓迎致します。また、フードドライブ事業では大変お世話になります！

本日合計 81,000円 本年度累計 409,000円

【五大奉仕委員会 委員会所信発表】 国際奉仕委員会 大竹茂明委員長

委員会メンバー紹介です。副委員長は藤堂さんですが、私が会長を拝命した年度に幹事をして頂き大変お世話になり、また今年もコンビを組ませて頂きます。続いて田中宏明パスト会長です。モンゴルの学校に図書を寄贈する事業を始められた会長です。続きまして市原さんですが、これまでに色々な委員長を7回も歴任されています。続きまして町田さんですが、これまでに数々の委員長を歴任し、国際奉仕委員長を3回も努めています。最後に伊勢丹の亀田さんです。亀田さんは昨年も国際奉仕委員会で姉妹市委員会の会合にも良く出席をされています。以上の6名で一年間活動致します。それでは今年度の活動計画を紹介致します。



まず第1に立川・サンバーナディノ姉妹市委員会と連携して高校生の相互派遣活動を支援致します。姉妹市委員会については、6年前私が会長の年度の時、立川ロータリーの活動をガバナー月信に載せたいとの地区より、依頼があり立川ロータリークラブで最も文才のある中山賢二パスト会長に書いて頂いた原稿をご紹介します。「国際奉仕委員会担当クラブ独自事業の姉妹市委員会事業をご紹介します。1959年12月23日に米国カリフォルニア州サンバーナディノ市と立川市との間に姉妹市が締結された事が発端となり、1962年から高校生による相互交換プログラムが始まりました。現在同事業は『立川・サンバーナディノ姉妹市委員会』の名称で活動し、当クラブは設立当初より関わり、数名の会員が出向してその活動・運営を支援しております。毎年夏休みにはサン市より立川市へ3~4名の選抜高校生が約1ヶ月間市内でホームステイし、彼らが帰国後、今度は立川市の同数程度の高校生がサン市で約1ヶ月のホームステイをし、この間、お互いの「街」への理解や、「文化や習慣」を、さらには「国民性」を学んで帰国するプログラムとなっています。本事業は今年で第50回目となり、過日8月31日例会において帰国報告会が開催されました。各高校生は約1ヶ月間での体験談を若者らしく生き活きと語り、最後に、人生の中で最高の体験と、このプログラムに参加する機会を与えてくれた東京立川RCへの感謝の言葉を述べて終了致しました。「継続は力なり」とよく言われますが、事業継続の背景には安定した事業資金が必要です。現在、東京立川RC全会員は姉妹市委員会の特別会員(年会費一人1万円)となっており、年間100万円程の会費を収め、その活動を継続支援しております。彼等の帰国報告を聞く度に、本事業の必要性を改めて知り益々の継続を願うものであります。」今の中山さんの記事にある通り、ここにいらっしゃる立川ロータリーの会員はすべて姉妹市委員会の会員であるということを特にロータリー歴の浅い皆さんにご理解をして頂きたいと思っております。古屋さんや亀田さんが会合に参加されていましたが、雰囲気味わえずし大切なことだと思います。以前お配りした姉妹市委員会の総会資料には、決算報告があり会費収入の備考欄にその内訳があります。立川ロータークラブ1万円×107名107万円とあります。会費収入の合計170万5千円の内の107万円が立川ロータリークラブとなります。以前、鈴木祥祐パスト会長が立川ロータリーの会費は34万円ではないと言っておられました。なぜそう言うのか。立川RCの年会費33万円と先程の姉妹市委員会の年会費1万円を合計して34万円だという事です。その証拠に中村久夫会長年度、幹事は市村パスト会長、会計はその鈴木祥祐パスト会長ですが、その年の基本資料の予算書に収入の部として会費収入33万円とはっきり書いてあります。その下の欄に姉

妹市委員会年会費1万円と書いてあります。機会があれば基本資料が事務局にありますのでご確認するのも面白いと思います。また姉妹市委員会の総会資料に戻りまして、決算報告でもうひとつ特筆すべきは寄付金の項目です。東京貿易ホールディングス様100万円とあります。もちろん町田さんの会社です。毎年、100万円寄付して、累計が1000万円にもなっています。他に鈴木榮一パスト会長100万円、鈴木正二パストガバナー100万円です。これは町田さんが大きな声でいってくれるなどおっしゃいますが、事実です。ロータリーメンバーの方に知っておいて頂きたいと思っております。またもう一つこの総会資料のなかで伝えたい事は役員名簿です。今年姉妹市委員会において、並木パスト会長は昨年までは委員長、今年より顧問、村野パスト会長は副委員長、渋谷さんは坂村会長年度に国際奉仕委員長をやられてからずっと理事を努め、田中清次郎さんは理事として毎年、6団体共催旅行に参加されています。益子さんも理事として活躍されています。そしてもう一人、6団体共催旅行は、竹内さんの日本旅行さんの段取りで毎年行われております。それにその年の国際奉仕委員長が職権理事として活動します。以上述べた姉妹市委員会のことを皆さんに知ってもらいたい。このことを言うことが本年度、私の役目のひとつだと思います。続きまして2つめの事業は委員会予算より30万円計上して、モンゴル共和国ウランバートルにある「新モンゴル学園」に今年も図書を寄贈致します。第3に昨年、中野裕司会長年度より開始しました、マイクロネシア医療船「シーハイブン号」を支援する寄付を清水淳一会長も継続するというので、今年度は委員会費より10万円を充てる予算を組んでおります。また最後に、起きないに越した事はないですが、諸外国で万が一自然災害等が起こった際には、義援活動等行う為に、私か藤堂副委員長が登壇してお願いをすることがあるかと思いますが、その際は宜しくお願い致します。最後の最後に、この後私の紹介者である、中島孝昌さんの父上である故中島富治パスト会長の言葉をご紹介します。一年の数ある例会の中でも、今、行っている本日のこの例会である五大奉仕委員長の話の例会が、一番つまらないとおっしゃっておいりました。そして一方で、好きな例会は、姉妹市委員会の派遣高校生の帰国報告会の例会だとおっしゃっておいりました。その例会は来る8月24日です。

青少年奉仕委員会 中島孝昌委員長

副委員長、委員の皆様を紹介致します。副委員長は、前年度当委員会の委員長として活躍されました木村真人さん、委員の皆様ですが、並木光治パスト会長、安達良文さん、利根川智さん、三田村秀雄さんの以上6名です。当委員会の活動計画としましては、12月14日開催のクリスマスチャリティーコンサートがありますが、この事業は毎年非常に多くの地域の皆様にご来場頂いており、今年度はこぶしクラブが幹事ですが、地域の皆様楽しんで頂けるような設営します。インターンシップについては、昨年同様都立第五商業高校からの要請があれば、皆様のご協力をお願い致します。また、RYLAについて木村副委員長に地区の委員を務めて頂いております。そして青少年の方による卓話も考えております。さて清水会長は、今年度のクラブテーマを「一期一会 ロータリー」とされました。この「一期一会」と「青少年奉仕」について私なりに考えてみました。委員会所信とは少し異なった話になってしまっていますが、ご容赦ください。先ず、「一期一会」についてですが、そもそもこれは仏教の禅宗の言葉、いわゆる禅語と言われております。私は熱心な仏教徒ではありませんが、菩提寺が臨済宗です



ので禅については多少の好奇心や憧れを抱いております。皆様もよくご存知の仏教の教えの一つに「諸行無常」があります。「世の中の一切のものは絶えず変化し続け永久不変なものなどない」との独特の考えです。そして、禅宗とは、臨済宗、曹洞宗、黄檗宗に代表される座禅を用いた修行を行う仏教の宗派とされていますが、この禅宗に「前後際断」という禅語があり、「今この瞬間を大切に精一杯生きなさい」と教えています。「世の中の一切のものは絶えず変化し続け永久不変なものなどないのだから、過ぎてしまった過去やまだ訪れてもいない未来を思い煩っても仕方がないので、今この瞬間を大切に精一杯生きなさい」という事になるのでしょうか。こういった仏教、禅の理念が「一期一会」という言葉の根っこの部分に存在しているような気が致します。「一期一会」という言葉は、単に出会いの大切さを教えているだけではなく奥の深いものです。ただ、私たちは僧侶ではありませんので「諸行無常」や「前後際断」などの難しい言葉は抜きにして、「過去を追わず、未来を悩まず、今この時を大切にする」というシンプルな解釈でよいのではないのでしょうか。そしてこの考えこそ私たちが若い世代と共存していく為に必要ではないかと日頃から感じております。私たちは家庭にて、職場にて、あるいは地域社会等で若い世代と日常的に接していますが、お互いに違和感を抱いてしまうことが多々あります。彼らは人生の序盤戦を生きていて人生経験はまだ少ないのですから、気持ちは未来に向かっていきます。一方、私たちは既に人生の後半戦を生きており、過去のしがらみを抱えています。従って、この違和感は仕方ないものなのかもしれませんが、これを和らげることはできると思います。違和感というのは、お互いに共有できるものを持つと自然と和らいでいくものです。両者が共有することのできるものとは、「今この時を大切に生きていく」ということであり、このようにお互いが向き合っていくことによって私たちは若い世代と共存していくことができるのではないのでしょうか。次に「青少年奉仕」についてですが、これは「職業奉仕」の一環であり、「職業奉仕」の為の「青少年奉仕」との認識が必要と考えます。「職業奉仕」はロータリークラブの根幹であり、私たちロータリアンの心の拠り所とも言えるべきものです。そして「職業奉仕」の座右の銘とされているものに「四つのテスト」がありますが、そもそもこれは机上の哲学でも倫理でもなくて、マフィアが暗躍し不合理な商取引が公然とまかり通っていた時代に倒産の危機に瀕した会社を立ち直らせる為にハーバート・テラーというロータリアンによって考えられた会社再建の為のスローガンであったそうです。この方は後にRI会長に就任されております。その英語の原文を厳密に訳しますと「真実かどうか」は「その商取引に虚偽はないか」、「みんなに公平か」は「その商取引はすべての取引先に対して公正か」、「好意と友情を深めるか」は「その商取引は信用を高め、より良い人間関係を築き上げて取引先を増やすか」、「みんなのためになるかどうか」は「その商取引はすべての取引先に利益をもたらすか」ということになるようです。このように「四つのテスト」は事業上の取引に使われたもので、会社経営の指針とも言えるべきものでした。これを人生訓として日々の生活に活かすことも大変に有意義ですが、その本来の意味を私たちは職業人としてしっかりと認識しておくことがとても大切だと思います。最後に「一期一会」と「青少年奉仕」を私なりに纏めてみました。「今こ

の時を大切に私達は若い世代と向き合い、机上ではなく日常の現場で汗をかきながら「四つのテスト」を粛々と伝授していき、やがて彼らは商業道徳、職業倫理を重んずる実業人、専門職業人へと成長して、健全な商取引を通じて節度ある世の中を構築していく」ということではないかと考えております。結びにあたりまして、「一期一会」という禅語をクラブテーマに選ばれた清水会長に敬意を表します。清水会長は一見強面の人ですが、実はなかなかの哲学者です。清水会長の思いを大切に務める所存ですので、皆様のご支援ご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。

クラブ奉仕委員会 横手好一委員長

クラブ細則によると、会長ノミニがクラブ奉仕委員長を兼務するとありますので、二年後を見据え勉強させて頂きたいと思っております。

まず、クラブ奉仕委員会の構成メンバーですが、細則によると「クラブ奉仕の特定の分野を担当する全ての委員長」とあります。基本資料に載っている通り、Aブロック 3委員会、Bブロック 2委員会、Cブロック 4委員会 合計9委員会の委員長により構成されます。ではここで9委員会の委員長をご紹介します。Aブロックでブロック長も兼務して頂きます、会員増強・分類委員長 山下隆仁委員長、次の2委員会は、パスト会長のみで構成されています。会員選考委員会 坂村英之委員長、ロータリー情報・雑誌委員会 清水千春委員長。Bブロックですが、ブロック長を兼務して頂きますクラブ会報委員会 渡邊達也委員長、広報委員会 小佐野茂樹委員長、続いてCブロック、ブロック長を兼務して頂く出席委員会 肥沼俊男委員長、親睦委員会 三浦 哲委員長、プログラム委員会 益子悦雄委員長、SAA委員会 織原寛一郎委員長です。さて五大奉仕部門の第一部門である「クラブ奉仕」とは、なんのでしょうか。これもクラブ細則によると「本クラブの機能を充実させるために、行動に関わる事」となっています。要は、「立川クラブの機能を充実させるために、必要な活動をする9委員会」という事だと思っております。ロータリアンにとって、職業奉仕・社会奉仕などの外向きの奉仕活動をする事はロータリアン使命であります。同時に内向き、つまりクラブに対しての奉仕・サービスも同じく重要なことでもあります。今年度 清水淳一会長のクラブテーマは、「一期一会 ロータリー」です。この「一期一会」は、まさにロータリー精神に相通ずるところがあると会長は言っています。皆様もロータリー活動を通じて、また例会でも、この「一期一会」の大切さを感じたことがあると思っております。クラブ奉仕委員会は、大切な「例会」を取り仕切ると言っても良い9委員会です。各委員会が会長所信を受け委員会の基本方針をたて、活動計画をもって一年間活動していきます。具体的には、基本資料に掲載されていますので是非一読下さい。最後に、クラブ奉仕委員会の使命とは、今年度のクラブテーマ「一期一会 ロータリー」にも相通することですが、四つのテストの3番目「好意と友情をふかめられるか」、ロータリーの目的の第一番「知り合いを広めることによって、奉仕の機会とすること」特にこの2点を推奨し活動していく事だと思っています。例会を大切に、会員を増やし、ロータリーを広く知らせ、更なる親睦を深められるように、各委員会の連携を密に楽しいクラブライフを図っていきたく思います。



事務局／東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
【TEL】042-525-4046 【FAX】042-529-2666
【HP】<http://www.tachikawa-rc.org/>
【E-mail】ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp

例会場／東京都立川市曙町2-40-15 パレスホテル立川
TEL：042-527-1111
例会日／金曜日 12：30点鐘
会長／清水淳一 幹事／平井洋孝 会報担当者／中島重夫委員